

再配達削減 チャレンジ!

資料編

京都府地球温暖化防止活動推進センターが実施した「再配達削減チャレンジ」プロジェクトで調べて分かったり教えていただいた興味深い情報をご紹介します!

あなたの事情や体験も教えてください!
#再配達削減京都

CASE STUDY 01

宅配ドライバーさんはどうして大変なのか。

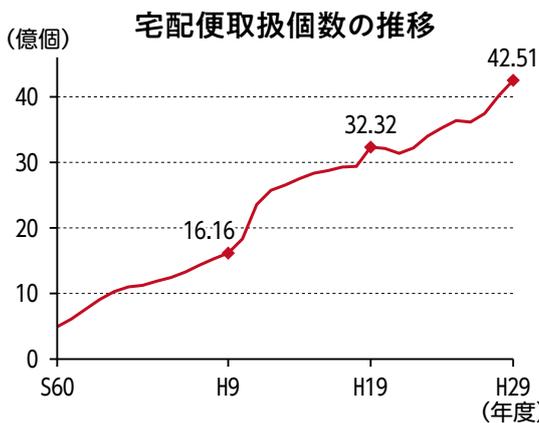
それは、**配達個数が増えて、再配達も増えている**から。

1年間の宅配便の個数は、

→ 日本全体で約**42.5億個**
(一人あたり30個以上)

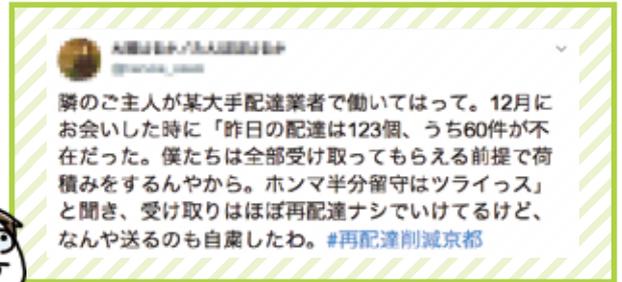
宅配個数は年々増えている!

→ 20年前と比べると、約**2.6倍**
(約16億個から約42.5億個に)



国土交通省「平成29年度 宅配便取扱実績」より作成

↓ チャレンジ参加者の Twitter より



1年の中でも特に忙しい繁忙期のエピソード。でも、本当に大変ですね…。

POINT!

配達個数が多く、さらに再配達が多いと、どれくらい大変になってしまうのか。仮に、1日に100個の荷物を8時間で配達するとしたら、単純に計算すると**5分に1個**配達しないと終わりません。もし再配達が20%だと、実質120個の配達と同じとなり、**4分に1個**配達しないと終わりません。実際の配達には、午前と夜の指定が多く、配達ピークに偏りがあり、再配達連絡があると配達ルートを変えることも。再配達が増えるだけ、宅配ドライバーさんの労働環境は厳しくなってしまいます。

CASE STUDY 02

どうして再配達が増えているのか。

それは、**インターネット通販の増加**や**共働き世帯の増加**など、**ライフスタイルが変わってきた**からかも。



参加者の声
受け取り手の事情、例えば…

一人暮らしの場合

一人暮らしをしている娘さん。お仕事の都合で、なかなか受け取りができず、何度も再配達になってしまった。ついに荷物の受け取り期限がせまり、京都に住むお母さんが、大阪の娘さんのマンションまで行って代理で受け取った。



学生さんの場合

インターネットショッピングを良く利用する。教科書や参考書はAmazonやメルカリで中古本を手に入れる。下宿をされていて、**授業やバイトで不在が多く、再配達も多い。**

下宿生で引っ越してきたばかり。**近所のお店が良く分からず、何でもネット注文で。**

とある女子大生。**ノーメイクの時は居留守。パジャマの時も受け取らず、再配達に。**

宅配ボックスやお届け通知サービス、職場受け取りができれば、もしかして再配達にはならなかったかも!



裏面に続く…

アンケートやワークショップで出た意見が多かった 再配達になりやすい荷物って？

- ・プレゼント、お歳暮、お中元
- ・懸賞プレゼントの当選の品
- ・ふるさと納税の返礼品
- ・年末に送られてくる企業のカレンダー
- ・宅配ボックスがあっても、**クール便**はボックスに入れない。また、ボックスに入らない**大きな荷物**も利用できない。



インターネット通販会社で アルバイトをしたことのある参加者の声

以前、通販の会社でアルバイトをしていたが、インターネット注文は**返品が多い**。宅配でいったん送って、また戻ってくる。返品の送料や手間などは**会社の負担**。返品された商品は、**売り物にならない**ことも…。

CASE STUDY 03

都会と 過疎地域の違い

買い物難民問題にも
つながっています。

- ・うちの地域は、時間指定ができない。一人のドライバーさんが広い範囲を担当しているの、1日に1周するのが精いっぱい。午前に時間指定してあっても、電話がかかってきて、**いつもの時間しか行けない**と言われる。(京都府内の比較的過疎の地域の方より)
 - ・できるだけ地元の店を使って、宅配を減らしたいという気持ちはある。でも、**地元の店が少なく、店舗に置いてある品数も少ない**。ある程度はインターネット通販に頼らなければ、正直難しい。(京都府内の比較的過疎の地域の方より)
- 一方で、都心の一部では「即日注文・即日配達」がスタートしてより便利に。生鮮食品なども配達されています。また、ドローン配送や無人の自動運転による配達(実験中)など、配送方法も変わろうとしています。

京都府内では こんな取り組みも…



- 【子どもの通学路の安全のためにも、再配達削減を】細い路地の多い京都市内の小学校。子ども達の登下校時の安全のために、細い路地のトラック走行や路上駐車の数減らすため、小学校のPTAと自治連合会が協力して「再配達を減らそう」と呼びかけを行いました。(H28京都市高倉校区)
- 【オープン型宅配ボックス】再配達削減の効果や使い勝手などの実証実験が実施されました。(H29京都市；H30環境省・京都府・宇治市；H30関西電力)
- 【集配荷の効率化】タクシードライバーが空き時間に荷物の配達や集荷を実施する「貨客混載事業」が笠置町で始まっています。(H30佐川急便・山城ヤサカ交通)

VOICE!

再配達削減チャレンジ 「やって良かった」の声

一人暮らしで仕事をしています。たまたま引越先のマンションに宅配ボックスがありました。それまでほとんど再配達だったのが、ほぼゼロに!(1回だけ、ボックスに入らない荷物が再配達になりました)。もしまた引越しをしても、今度も宅配ボックスがある物件にします。



お知らせ通知サービスに登録をしてから、配達予定が分かったり変更ができるので、自分の予定が立てやすくなって、なんだかストレスが減りました。

仕事から帰って、夕食作りや子どものプリントの確認やお風呂など、バタバタしている夜に荷物を受け取るのは慌ただしく、一方でせっかくの休日に時間指定して2~3時間自宅待機するのもストレスでした。職場受け取りすると再配達もなくなり、自宅で少しゆとりが増えました。

あなたにとってピッタリの受取方法、

「再配達削減チャレンジ・パンフレット」
ぜひ見つけてください。

